

～ トマト栽培に夢を託して～
藤田 浩一郎さん（今治市）

[所属・役職等]

青年農業者協議会 1972 年生まれ



☆経営概況☆

（経営規模、栽培品目、労働力等）

平成22年より今治市の朝倉地区で、妻と共に大玉トマトの施設栽培をしています。当初10aから栽培をスタートしましたが、翌年にはハウスを増設し現在は22aに規模拡大をしました。

☆ここがポイント☆

（特徴的な経営や栽培方法、就農の経緯等）

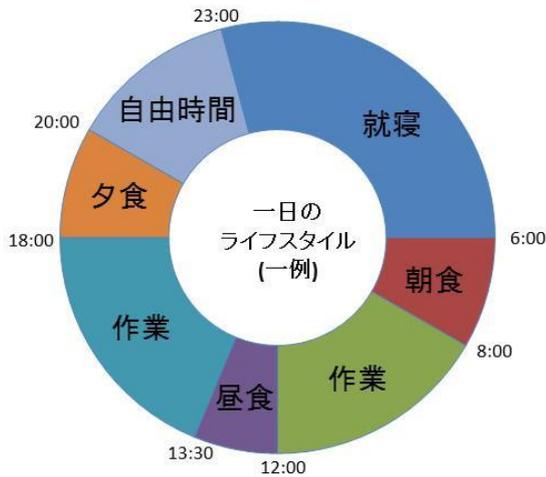
- 大学卒業後は東京の出版社で編集者として働いていましたが、取材で多くの技術者と接するうちにモノづくりによる独立にあこがれるようになりました。その後、子供たちの子育てについても考えた結果、妻の出身地である今治市で農業を始める決断をしました。
- 栽培技術の習得については農業大学校の支援塾や波方町の野菜農家さんのもとで学んだ後、朝倉地区の農業指導士さんのもとで営農インターン推進事業を活用し1年間研修を行いました。
- 作型は、9月中旬定植の促成栽培。12月中旬から翌年の7月中旬まで7か月間収穫が続きます。準備・片付けを含むと、ほぼ1年間通しての作業になります。
- 妻とは家族経営協定を結び私が栽培・簿記記帳に関する事、妻が家事作業に関する事と役割分担をするようにしています。
- 近年はヒートポンプを導入することで、ハウス内の環境整備やCO₂削減にも取り組んでいます。



（地域の仲間と共にハウスを建設）



（日々の細かなチェックはかせない）



【普段の生活について】

トマト栽培に追われる毎日ですが、食事や会話の時間など、サラリーマン時代にはあまり作れなかった家族と共に過ごす時間を大切にしています。

栽培期間終了後には、ほぼひと月夏休みが取れます。キャンプをしたり海水浴に行ったりして1年分遊び倒していますが、子供が大きくなってきたのでこれから相手をしてくれるか心配です。

【年間のライフスタイル (一例)】

| 各月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------|---------|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|-----|-----|
| 主な作業 | 収穫・栽培管理 | | | | | | | 準備 | 栽培管理 | 収穫 | | |
| 作業量 | | | | | | | | | | | | |



(妻と2人の子供たちと共に)

☆これからの夢や目指すもの☆

当面は夫婦二人の農動力で無駄なく管理し、さらなる品質と単位当たりの収量の向上を図っていきたいです。

また、今後は同じ地域で大玉トマトを栽培する農家を増やす活動もしていきたいです。

☆メッセージ☆

農業は失敗も成功もすべて自分の責任、シビアな世界だけれども、うまくいったときの達成感は何事にもかえ難い、やりがいのある仕事です。自分たちは全くの素人で、土地も施設も経験もなく、ゼロからスタートしましたが、たくさんの人にお世話になりなんとかやってきました。一所懸命農業を続けることで恩返ししたいです。そして、農業を志す人の手助けができるよう、頑張っていきます。